議会だより入善

GIKAI DAYORI NYUZEN

No. 219
2026年10月27日



とうり保育所　運動会

9月
定例会

じゅわ～っと
にゅうぜん

主な内容

補正予算の概要 ・・・ 2P
特別委員会レポート ・・・ 3P
常任委員会レポート ・・・ 4P
代表・一般質問（9議員） ・・・ 5P
研修視察レポート ・・・ 14P
事業紹介
（小中学校給食費無償化） ・・・ 16P

／5歳児健診スタート

9月定例会のあらまし

9月定例会は、3日から18日までの16日間開会し、町長から提案された令和8年度一般会計補正予算1件と事業会計補正予算1件を審議し、すべて可決した。また、教育委員会委員の任命について同意した。

なお、令和7年度決算認定に係る6議案は、閉会中の継続審査とした。

補正予算の概要

一般会計補正予算の主な内容は、児童センターの空調整備の工事費などである。

歳入、歳出ともに1億1463万2千円を追加し、総額114億9195万3千円とした。

◎一般会計の主な事業

○一般管理事務費　2492万円

土地台帳など、固定資産税関係の永年保存文書を電子化する。

○児童センター管理運営費　8000万円

児童センターの既存エアコンの修繕と併せて、空調設備が未設置の遊戯室に新たに整備する。

○すこやか親子推進事業費　16万円

5歳児健康診査の実施体制を整え、令和9年1月から健診を開始する。

◎事業会計

○下水道事業会計　2410万円を増額

教育委員会委員の同意

9月30日で任期満了となる教育委員会委員に、引き続き大井里恵氏を選任することに同意した。任期は4年。

(再)大井（おおい）里恵（さとえ）氏

富山県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

8月31日で任期満了となったため選挙した結果、中瀬淳哉氏が当選した。

(新)中瀬（なかせ）淳哉（じゅんや）氏

黒東合口用水組合議会議員の選挙

当町選出議員のうち、1名の欠員が生じたため選挙した結果、岩田宜久氏が当選した。任期は、前任者の残任期間である令和9年7月26日まで。

(新)岩田（いわた）宜久（よしひさ）氏

私たちが慎重にチェックします

○令和7年度決算の審査

令和7年度入善町一般・特別・事業の各会計決算認定については、5名の委員による決算特別委員会を設置し、次期12月定例会まで審査することとした。

委員長　佐藤　一仁
副委員長　松田　俊弘
委員　三賀喜久美
〃　飯田　朱美
〃　加藤　裕子

臨時会　8月19日

令和8年度一般会計補正予算1件、議案1件を審議し、すべて可決した。

歳入、歳出ともに6273万4千円を追加し、総額113億7732万1千円とした。

◎主な事業

○地域経済等支援事業費　5937万円

プレミアム率30％のプレミアム商品券3万4千セットを発行する。

○議会運営費　336万円

入善町議員報酬及び特別職給料審議会からの答申を踏まえ、入善町議会議員の報酬等を増額する。

児童センターの空調環境を整備

条例の一部改正

○入善町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について

▼改正の内容

平成15年から23年間据え置きとなっていた議員報酬を引き上げる。

（議　長）36万2千円 → 39万7千円
（副議長）31万4千円 → 34万7千円
（議　員）29万4千円 → 32万7千円

▼改定時期

令和8年10月の報酬から

賛成全員で可決

町議会議員の補欠当選

入善町議会議員補欠選挙は7月28日に告示され、無投票で2名が当選した。



上浦　雄治（かみうら　ゆうじ）
65歳
無　新
未来
総務



草島　亮太（くさしま　りょうた）
38歳
無　新
未来
産業教育

▲ 氏名、年齢、党派新旧別、会派、常任委員会

8月臨時会の議決状況

議案番号	氏名	草島亮太	上浦雄治	加藤裕子	飯田朱美	三賀喜久美	鍵田昭	井田義孝	本田均	佐藤一仁	松田俊弘	元島正隆
議案第35号	令和８年度入善町一般会計補正予算（第３号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	入善町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

9月定例会の議決状況

議案第37号	令和８年度入善町一般会計補正予算（第４号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	令和８年度入善町下水道事業会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第20号	入善町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
選挙第３号	富山県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
選挙第４号	黒東合口用水組合議会議員の選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

環境・上下水道対策特別委員会レポート

7月21日、8月19日、27日に環境・上下水道対策特別委員会を開催した。

町の簡易水道事業は、平成12年の料金改定以来、25年以上にわたり現在の料金を維持してきた。しかし、人口減少に伴う使用料収入の減少や、物価上昇などにより財政状況が大変厳しく、使用料の改定について議論を行った。

町の水道料金は、使用水量15㎥のとき月額５７２円で県内最安値となっている。次に安い滑川市は１，３４４円、最も高い氷見市は３，４５３円である。町では今後、年間１４００万円の水道使用料の増額が必要になると試算している。

複数の料金改定案を検討したうえで、町簡易水道を利用する地区の区長会に意見聴取することとした。また、地区住民に向けた説明会を開催し、丁寧に説明を行うよう求めた。

常任委員会レポート

総務常任委員会

地域のささえあい推進事業には2つのメニュー

Q　地区祭礼の備品等の購入に係る「地域のささえあい推進事業」の50万円の対象地区はどの地区か。

A　小摺戸上部自治会だ。今回は、祭礼に使う獅子頭の修繕や付属品の新調の費用が対象だ。

この補助事業には2つのメニューがある。「わがまち支えあい事業」は地域コミュニティの維持・強化につながる事業に補助率2分の1（上限50万円）、「未来に伝える宝づくり事業」は、伝統文化の継承を支援するもので補助率3分の2（上限50万円）だ。

児童センターのエアコン整備には半年程度かかる

Q　児童センターの空調設備工事には、いつ頃取り掛かる予定か。

A　遊戯室に新設するエアコンには、キュービクルという高圧受電設備が必要となる。

現在、空調設備工事の設計委託中だが、キュービクルの製作に取りかかると、完成までに半年程度が必要になると見込んでいる。

Q　当初予算分と今回の補正予算分の工事を実施すると、最終的にはどのような設備になるのか。

A　当初予算では、天窓を塞ぐ工事を予定している。あわせて、照明をＬＥＤ化する。廊下にもエアコンを設置して、暑さに対応する。

令和9年1月から、5歳児健診を実施

Q　5歳児健診は、どのような方式で実施するのか。フォローアップまで対応するのか。

A　保健センターで集団健診を実施する。身体計測のほか運動機能、言語発達、社会性、生活リズムなどを確認し、小児科医の診察を行う予定だ。また、保健師、臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士、教育センター職員による相談も受ける。継続した支援や医療・福祉機関等との連携が必要な場合は、療育機関への案内や育児相談などでフォローアップを行う。

今回の予算は、健診のみに係るもので、健診後のフォローアップは含まない。

Q　対象児童は何人か。

A　対象となる児童数は、今年度においては、1月から3月に5歳を迎える児童が対象で33名を見込む。令和9年度に対象となる児童は、年度内に5歳を迎える児童全員だ。

産業教育常任委員会

田の陥没による被害面積増加で土地改良事業予算が増額

Q　土地改良事業への増額は被害面積の増加が要因か。

A　県単土地改良事業については田の陥没に対する補助で、負担は県が40％、町30％、土地改良区30％だ。青木地区1カ所、飯野地区2カ所、新屋地区2カ所で合わせると5カ所が対象だ。

毎年5カ所以上発生している。

7月下旬の大雨で6カ所が床下浸水

Q　大雨対策として、一定以上の降水があると黒東合口用水が止まると認識しているが、7月26日の大雨で被害が出た原因は何か。

A　1時間に１００ミリ以上の雨が短時間に局地的に降り、想定外の雨量だった。床下浸水が6カ所で発生しており、被害場所は西町公園付近、入善駅～東洋紡間の合流地点、島地区の水路が折れる地点での溢水等である。

町内の公園を管理しやすいものに

Q　今後の公園行政のあり方の考えは。

A　町内には39カ所の公園があり、一般修繕費として年間約４００万円を予算計上している。

昭和44年に公園都市宣言をし、「町内各地に公園を作る」「住民みんなで公園を管理する」とスタートした。

年月の経過とともに、今後は管理のしやすい公園にしていく必要があると考えており、樹木の剪定・伐採や傷んだ遊具の撤去など取り組んでいく。

保存木の維持管理は所有者が行う

Q　町の保存木の維持管理に係る費用をどう見込んでいるか。

A　基本的に町の指定保存木であっても個人所有のため、維持管理は所有者が行う。

今回の枯れたヒメマツは古く、所有者のいない木であったため、特例として、町で伐採したい。

歴代最年少で就任した 第8代入善町長としての自覚と抱負は

町長

「みんなが幸せを実感できる入善へ、笑顔あふれる、安心のまち」の実現に向けて全力を尽くす



8代目町長にエールを込めて質問



元島　正隆　議員（会派　未来）

問　町の再構築に向けた決意と、町の将来像を新町長のキャンバスにどう描こうとしているのか。

中瀬町長　これまで町議会議員として12年8カ月にわたり住民の声の代弁者としてまた、町当局が提案する様々な議案についてその決定に携わってきた。

町長に当選し、行政の実務的な舵取りを担う責任者として予算編成や政策の実行、日々のサービスの提供など成果と責任が求められる重責を担うことになった。町長としても未熟な部分や足りない部分はあるかと思うが、町づくりの仲間である職員や議員各位と補い、支えあい、議論し、協働しながらこの町に住む人が幸せを実感できるまちづくりに勇往邁進かつ誠実に努めるとともに、全身全霊を注ぐ。

競争入札制度の改革・事前公表制度の考えは

入札制度改善検討委員会で検証し判断

問　公正・公平を原則とした入札制度の見直しは。

竹島副町長　平成23年8月の閣議において、「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」が決定され、地方公共団体においても、予定価格の事後公表への見直しについて国から要請があった。

町では庁内の「入札制度改善検討委員会」等で検討した結果、平成28年4月より予定価格を事後公表とし現在まで運用しているが、事後公表には依然として再度入札による業者や職員の負担増、予定価格漏えい等の不正発生のリスクなどの課題もあるものと考えている。

予定価格の事前公表への移行により、予定価格の漏えい等の不正行為の防止や、入札・契約に係る透明性の確保などのメリットがあるものと認識している。

時代の移り変わりに伴い、公共事業における町や業者を取り巻く状況も変化しており、予定価格の公表などについては、改めて入札制度改善検討委員会等で事前公表の実施を検証したうえで、必要に応じて改正に取り組みたい。

犯罪被害者支援条例制定の取組は

条例の制定へ準備を進める

問　犯罪被害者等支援を目的とした条例制定の考えはないか。

町長　犯罪被害者やそのご家族に対する支援を推進していくためにも条例制定は大変重要なものであり、被害者一人ひとりの実情に配慮した寄り添った支援を行うことを明記するために、条例の制定について準備を進めたい。



井田　義孝　議員（会派　日本共産党）

簡易水道の値上げ分は当面町が負担を

副町長　しっかり予算化するため、1・9倍に値上げしたい

問　町は舟見、野中や椚山など6つの町営簡易水道が来年度から赤字になるからと1・9倍もの値上げを提案している。人口減や電気代高騰による収支の悪化、他市町村と比べて低すぎた料金設定など、値上げの必要性は理解できるが、なぜもっと早く議会と住民に相談しなかったのか。今まで気付かなかったのか。



1.9倍もの値上げ？

中瀬町長　下水道のように財政見通しを作成し特別委員会に報告することをしてこなかったため、値上げの説明、相談が遅れ大変申し訳なく思う。今後、当該地域の皆様に丁寧に説明していく。

国友水道課長　令和6年度決算で、このままでは黒字経営が困難と判断した。令和8年度予算要求の段階で、9年度以降は赤字になるとわかった。財政シミュレーションしておくべきだった。相談が遅くなり申し訳ない。

問　町に責任があるのだから、激変緩和措置として黒字化に必要な年間1400万円を町が負担し、住民の納得が得られるまで値上げを延期すべきだ。

町長　簡易水道は独立採算であり、一部の方々のために一般会計からの繰り入れは公平性の観点からもすべきでない。

問　これから住民に説明をするのに、来年度から値上げするしかないんだ、というやり方では納得を得られない。何らかの激変緩和策は必要だ。

竹島副町長　組織的な問題もあって報告、相談が非常に遅くなったのは、最終的には私の責任で大変申し訳ない。来年度からしっかり予算を立てるために1・9倍の値上げをお願いしていきたい。

空き家実態調査の後、条例改正や公費解体はあるのか

相続放棄空き家は行政代執行も検討

問　町では10年ぶりに空き家実態調査が行われるが、その進捗はどうか。条例の改正などは考えているのか。町が公費で解体する考えはないか。

町長　各地区から提供された情報を調査委託業者がまとめ、現地調査の準備をしている。10月末を目途に調査を行う。今回の調査を踏まえた条例の改正はない。公費での解体は、費用の回収が困難、公費投入の是非、「町が壊してくれる」という認識が広がる恐れなどから、基本的には指導、助言で所有者による管理・解体につなげていく。しかし、相続放棄され、老朽化や荒廃が急速に進み、周辺の生活環境や安全に悪影響を及ぼす空き家については空き家対策審議会で十分に審議いただいた上で、行政代執行も検討していきたい。

学校体育館の冷房設備対策を来年夏までに

町長　早期に固定式エアコンを整備する　完了までの間はスポットクーラーを



来年夏はスポットクーラーで涼を

問　町議会総務常任委員会は、昨年同様に、学校体育館の冷房対策の視察として、長野県須坂市のスポットクーラーを利用した体育館の冷房対策を見学した。その結果、学校の体育授業などで火照った子どもたちの身体を冷やすには相応の効果が見込めるものと思われた。また、設置費用や整備期間等の利点も考えられる。来年夏までの整備を考えてはどうか。

中瀬町長　学校体育館への空調設備整備は、喫緊の課題と認識している。町では7月末に、県内の空調が整備されている体育館を視察してきたと聞いている。報告によると、整備された体育館では断熱工事を実施し、24台の空調機器が設置されており、学校の授業はもちろん、避難所となっても涼しく過ごすことができるのではないかと感じられたとのことだ。整備には約1億6千万円の費用が想定される。

　一方、移動式大型エアコンを整備した体育館では、1・5馬力のエアコン4台が設置され、空間を冷却するには効果は少ないが、運動後のクールダウンには十分な効果を果たすように感じたとの報告を受けた。

　町内全小中学校の体育館には、早期に固定式エアコンを整備する。整備完了までの間は、移動式スポットクーラーを配置して子どもたちを守る。



佐藤　一仁　議員（会派　自民清流会）

桃李小学校南側の樹木の伐採や剪定を　ケヤキ、アラカシ、クスノキを業者に委託予定

問　学校や地区公民館などの植栽管理が不十分に思える。特に、桃李小学校南側の樹木やひばり野小学校などは、計画的に剪定されてきたとは言えない状況だ。他の公共施設なども合わせ、総合的な予算を組んで、早急に取り組んではどうか。

田中教育委員会事務局長　令和6年度に、桃李小学校で10本、ひばり野小学校で12本の剪定をした。令和7年度の剪定は無いものの、今年度は両校で秋からの実施に向けて、業者委託をする準備中だ。各施設の状況を踏まえ予算を確保したい。

犯罪被害者等への支援に向けて条例制定を　「安心のまち」の実現に向け準備を進める

問　県内では、9自治体が犯罪被害者等の支援を目的とした条例を制定しているが、入善町は未制定だ。条例制定に取り組んではどうか。

町長　犯罪被害者やそのご家族に対する支援を推進する上で、犯罪被害者等基本法の3つの理念にのっとり、条例制定することは大変重要なことだ。「みんなが幸せを実感できる入善へ。笑顔あふれる、安心のまち。」の実現に向けて、現在の相談体制や関係機関との連携、支援体制などを整理し、準備を進めていきたい。



草島　亮太　議員

人を呼びこむ拠点を旧庁舎跡地に整備する考えは

町長　跡地を含む中心エリアの方向性を任期中に示したい

問　観光客入込数が県内で下位にある現状をどう受け止めているか。また、旧庁舎跡地に情報発信・特産品販売・地産地消の拠点や、立地適正化計画で掲げる複合施設を整備する考えはないか。



旧庁舎周辺

中瀬町長　令和7年の本町の観光客入込数は延べ31万4千人で県内14位であり、観光施策において大きな課題と受け止めている。自然散策型の観光が中心で、宿泊施設が少ないことも要因と考える。体験観光の視点も取り入れ、SNSなどを通じたPR強化に取り組みたい。

　ご提案の拠点整備は町活性化の起爆剤となり得る一方、民営圧迫や採算性などの課題も多く、長期的な視点で研究したい。立地適正化計画は策定から9年が経過しており、まずは計画そのものの見直しが必要だ。旧庁舎跡地を含む町民会館周辺は、単に何をつくるかではなく、中心エリア全体の中での役割という視点から考え、その方向性を任期中に示したい。町民の声もしっかりと聞いていく。

ふるさと納税の経費率4割での収支試算は　現在の寄付水準では赤字のまま

問　令和6年度のふるさと納税寄付額急増の要因は。また、経費率が4割に引き下げられた場合の収支の試算はあるか。

島尻秘書政策室長　「令和の米騒動」を背景に、パックご飯など米関係の返礼品が全体の約9割を占めたことが要因で一過性のものと分析している。

　経費率の上限は10月から段階的に引き下げられ、令和11年には40％となる。住民税控除額が現状と同じ水準であれば、赤字とならないためには約5400万円の寄付が必要と推計しており、現在の寄付水準では赤字のままと試算している。なお、10月からの新基準は現在の返礼品全46品が満たしている。魅力的な返礼品の開発やPRに積極的に取り組んでいく。

海洋深層水全国大会を返礼品の開発の起点に新たな返礼品や企業誘致に繋げる

問　海洋深層水などの地域資源を活用した商品開発への補助金の利用状況は。また、10月の海洋深層水利用学会全国大会を返礼品開発の起点とする考えはないか。

若林キラキラ商工観光課長　農商工等連携事業補助金は延べ15件、海洋深層水利活用促進支援事業補助金は延べ21件の取組を支援してきた。令和7年度に対象に加えた返礼品開発には計5件の問い合わせがあり、「冷やし焼き芋」が事業化されている。

　10月末に開催する海洋深層水サミットと全国大会を契機に、全国的なネットワークを構築し、新たな返礼品の誕生や企業誘致につなげたい。

婚活支援事業を今後も継続していくのか

町長　今後は「民間団体との共同」へシフトする



これまでの婚活イベント

問　これまでの婚活支援事業をどう評価するか。

中瀬町長　人口減少に対し果敢に取り組んできた施策であり、結婚機運の醸成に貢献し、一定の成果を上げてきた。その先見性と姿勢は高く評価できるものであり、大いなる誇りだ。

問　婚活支援事業を今後も継続していくのか。

町長　出会いの手段が急速に多様化する中、現在の手法は改める時期に来ている。今後、イベント的な婚活は「民間団体との共同」を進め、民間の取組を側面から支援する方向へシフトする。

問　婚活支援事業をどのように改善する考えか。

町長　「民間・地域団体の取組への支援」「県の広域的なデジタルインフラの活用」「県・市町村等連携によるスケールメリットの活用」を軸に事業の改善を図る。

問　これまでの子育て支援策を継続していくのか。

町長　これまでの支援策の意義は認めつつも、今後は「個人に対する一過性の支援」から、より多くの子育て世帯が真に幸せや住みやすさを実感できるよう、地域社会全体で子供たちを等しく支え、未来の安心を担保する「全体支援」にシフトチェンジしたい。

問　新たに取り組みたい支援策はあるか。

町長　体育館の空調整備をはじめ、子供たちの命と健康を守るための教育・子育て環境整備を最優先課題とし、「町民全体で共有できる子育て支援」へ転換を図る。

社会福祉協議会にどんな役割を期待するか
地域福祉の根幹を支え行政や地域住民とのつなぎ役としての役割を

問　町として地域福祉の将来ビジョンをどのように描いているか。

町長　子供から高齢者まで、障害のある人もない人も、誰もが安心して自立した日常生活を送ることができ、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域福祉を推進する。

問　社会福祉協議会の財源不足と今後求められるニーズの拡大に対し、機能を維持し、ニーズに対応できる体制を確保できるよう支援を行う考えがあるか。

町長　福祉は町づくりの土台でもあるので、町全体の福祉体制の確保において、社会福祉協議会の求められている役割を整える上で、町として必要な支援の内容について社会福祉協議会とともに検討したい。

問　町は今後どのように社会福祉協議会と連携し、支援を必要とする町民を地域全体で支える仕組みを作っていく考えか。

町長　住み慣れた地域で安心して生活できるよう、社会福祉協議会と地域課題を共有するとともに十分協議しながら、地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉において、行政、地域、社会福祉法人、福祉事業者、それぞれが持っている力をつなぎ、町全体で福祉を支える、その中心的な調整役、つなぎ役を社会福祉協議会に担ってもらう体制の構築を検討したい。



加藤　裕子　議員



上浦　雄治　議員

子育て支援と若者世代の定住促進の基本方針は

町長　子育て支援においてはすべての施策を横断的かつ包括的に推進する

問　子育て世代の定住促進において、保育や教育、相談体制、地域の見守りなど、特に重視している分野はどこか。



海洋深層水かきセンター周辺

中瀬町長　子育て世代が住み続けるには、経済的な支援と合わせて、あらゆる場面において安心して暮らせる環境が重要となる。ライフステージごとの不安と将来の不安を取り除き、安心して希望を持って子育てしていけるような環境を整えていきたい。子育て支援においては、特定の分野を重視するという考えはなく、すべての施策を横断的かつ包括的に推進してまいりたい。

問　既存事業者の経営支援や人材確保にどのように取り組んで行くのか。

若林キラキラ商工観光課長　既存事業者への支援策として、「町中小企業設備投資促進事業補助金」、「利子助成」、「経営アドバイザー派遣事業補助金」、「中小企業融資信用保証料助成金」等といった各制度により、事業者の設備投資から資金運用、経営支援など、ハードからソフトまで幅広く支援を行っている。人材確保については、求職者と地元企業を結ぶ「人材マッチングフェア」を実施してきており、去る８月20日に開催したマッチングフェアでは36事業所と64名の求職者の参加があった。

異常気象に対する町の対策方針は

適切な避難行動について、より一層の周知を図る

問　町が重点的に進める防災事業の現状と課題は何か。

梅澤総務課長　現在、富山県において、地震被害想定調査及び津波シミュレーション調査が進められていることから、今後示される調査結果等を踏まえ、津波ハザードマップの見直しを行うとともに、住民の皆様に最新の災害リスクや適切な避難行動について、より一層の周知を図ってまいりたい。

海洋深層水かきセンター周辺の整備推進をどのように考えているか

新規企業の計画が円滑に進むよう対応していく

問　海洋深層水かきセンター周辺の整備推進をどのように考えているか。

若林課長　周辺の区域では、三菱商事株式会社と株式会社Ｕｍｉｏｓによる合弁会社であるアトランド株式会社が、海洋深層水を活用したアトランティックサーモンの陸上養殖事業を計画しており、令和９年度の創業開始を目指して着実に準備を進めている。

　このほか、海洋深層水を活用した取組を模索する事業者から、現在も複数の問い合わせを受けている状況であることから、海洋深層水かきセンター周辺は、新たな企業の進出などが、まだまだ期待できるエリアではないかと考えている。

　既存企業の計画はもとより、新規企業の計画が円滑に進んでいくよう対応していく。

外国人の住居確保と地域交流をどう考えていくか

町長　地域住民の方々と情報交換しながら積極的に考えていきたい



地区運動会に参加する外国人住民



飯田　朱美　議員

問　多文化共生社会を実現するための環境整備として、外国人の住居確保をどう考えているか。

中瀬町長　外国人に特化した支援制度はないが、空き家バンクや町営住宅、定住促進住宅などの活用について情報や支援提供している。

問　地域の受入れや交流をどう考えているか。

町長　「入善町元気な地区づくり応援補助金」など地域の交流イベントを支援する制度もあるので、地域住民の方々と今後しっかりと情報交換をしながら積極的に考えていきたい。

問　災害対応についてどう考えているか。

町長　町ホームページは英語、中国語など5言語への翻訳が可能であり、地域の災害リスクや避難場所などを確認してもらえる。平時から地域住民や企業、行政で「顔の見える関係」を築いておくことが災害時の円滑な支援につながると考えられ、外国人住民の参加を想定した防災訓練や避難所運営訓練の検討や、防災出前講座の活用など企業に対する働きかけを行いたい。

問　外国人住民に対する役場窓口での対応や環境整備はなされているか。

町長　住民環境課および元気わくわく健康課では、携帯型ＡＩ翻訳機を利用している。また、役場には総合案内窓口があり、日本人、外国人に関わらず、どの窓口に相談すればよいか分からない場合や、手続きに不安がある場合には、まずここで用件を伺い、担当部署を案内している。

問　外国人の子どもたちや保護者へは、どのような支援がされているか。

小川教育長　町内小学校には11人、中学校には8人の外国籍の児童が就学しており、増加傾向にある。就学支援として、県教育委員会から配置される外国人相談員のサポートを受けながら学習を進めている。保護者への対応としては、携帯型翻訳機でコミュニケーションを図っている。また、保護者が勤務する会社の通訳を通じて情報の伝達は行えている。

駅伝大会を安全に継続するには

大会運営の見直しを検討している

問　近年、クマの出没により駅伝競走大会の開催が難しくなっているが、安全を確保して継続する考えはあるか。

田中教育委員会事務局長　令和3年度、7年度にはクマの出没によって中止となった。参加チームの減少、ボランティアスタッフの高齢化や減少、高齢ドライバーによるコース侵入など交通安全の確保にも苦慮している。来年度からコース変更を含む、大会運営の見直しを検討している。

公共交通の改善は急務ではないか

町長　計画を策定し、改善に取り組む



松田　俊弘　議員

問　町が行ったアンケート調査では、町民の半数近くが、公共交通が町の弱点だと答えており、改善は急務だ。



町営バス「のらんマイ・カー」

町長は議員時代に公共交通の改善を求めてきたが、今後どのように改善していくのか。

中瀬町長　公共交通網を再構築するため、現在、地域公共交通計画の策定に取り組んでいるところだ。

早期実現が可能な施策は、先行実施することも視野に入れて改善に取り組む。

問　せめてバスで黒部市や朝日町にも行けるようにする考えはないか。

町長　町民の日常生活を支える上で黒部市、朝日町との公共交通ネットワークの構築は重要な課題に位置付ける必要がある。

どのような方法であれば実現することが可能か、しっかりと検討していきたい。

学校体育館へのエアコン設置の計画は　できるだけ早期に2カ年で整備したい

問　猛暑から子どもたちを守るために体育館のエアコン設置が議論されてきたが、災害時の避難所としての環境整備の観点も重要だ。

町はどのような計画を立てているのか。

田中教育委員会事務局長　昨今の夏場の酷暑・猛暑の状況を鑑み、要望が強い未整備の特別教室への空調整備と併せ、体育館については、固定式エアコンの整備を進める。

整備が完了するまでは、各体育館に1台、移動式スポットクーラーを導入する。

「結ネット」で日常の安否確認は可能か　既読になったかで確認できる

問　町では、町内会などで情報配信などができる「結ネット」を導入している。利用者は携帯電話で情報の確認ができるものだ。

最近は一人暮らし世帯が増えている。「結ネット」では災害時の安否確認ができるが、日常的な安否確認はできるのか。

梅澤総務課長　回覧板にあたる「お知らせ」機能では、本人が閲覧したことで「既読」になったかどうかを区長などの管理者が確認できる。

時間的・距離的制約を受けない多くの機能は、使えば使うほど、見守りのツールとして、可能性を広げている。

問　登録者は町内の2割程度だが、今後どう普及を図るのか。

梅澤課長　町は、導入費・運用費を全額補助しており、今後もさらに普及啓発に取り組んでいく。

町営住宅を緊急一時住宅として確保する考えは

住まい・まちづくり課長　直ちに入居できる状態とはなっておらず、今後、関係機関と連携し研究する



くぬぎやま住宅外観

問　町営住宅を緊急一時住宅として確保する考えはあるか。

長島住まい・まちづくり課長　家具やライフライン等が整っておらず、直ちに入居はできない。災害やＤＶ被害者等への活用について、関係機関と連携し研究する。

問　町営住宅の入居者の安定をどう守るのか。

長島課長　住宅の集約や廃止を行う場合も入居者の生活の安定を最優先とし、説明など丁寧に対応する。

問　将来の町営住宅の需要を分析しているか。

長島課長　推計では10年、20年後は減少の見込みである。単純に戸数を減らすのではなく、老朽化や入居状況、立地条件、住宅としての役割などを総合的に判断する。

問　老朽化やライフサイクルコストを、今後の投資や再編にどう生かすか。

長島課長　長寿命化計画の改定時にコストを算出し、改善事業による縮減効果を検証した。当面は現存住宅の長寿命化を進め、今後も、費用の比較・検証をする。

問　ＰＰＰ・ＰＦＩなどの民間活力を活用する考えはあるか。

長島課長　福祉施設との複合化や民間活力の導入も視野に入れ、効果や課題、財政負担等を総合的に研究する。



三賀　喜久美　議員

大雨対策の課題と改善点は

危険度急上昇時の職員の初動体制が課題

問　７、８月の大雨対応での課題と、今後の改善策をどう考えているか。地区自主防災組織の自立的な取組の支援をどのように行うのか。

梅澤総務課長　急速な危険度上昇時の職員の初動体制が課題である。参集、避難所開設、情報伝達等を検証し、迅速に対応できる体制を整える。自主防災組織との情報共有や、相互に連携する地域防災体制の構築に努める。

問　福祉避難所の実際の受入れ能力を把握しているのか。

町長　町内９施設と協定を締結している。受入れ可能人数や設備を毎年確認しており、発災時はその都度、施設と調整する。

問　福祉避難所の要支援者の移送体制について決めているのか。

町長　マニュアルに基づき、地域の支援や福祉車両等で移送する。今後も関係機関との連携を強化する。

○その他の質問
・図書館の今後の在り方について

総務常任委員会研修視察レポート

長野県須坂市・埼玉県鳩山町　7月7日～8日

体育館への移動式エアコン導入　長野県須坂市

須坂市では令和2年に、新型コロナワクチンの接種会場となった須坂市北部体育館アリーナに6馬力の移動式エアコン「ヒエスポ」を4台導入した。

大掛かりな工事が不要で、導入費も4台で568万円と安く、追加導入も容易、移動式なので必要なところに集中投入できるなどのメリットがあると感じた。維持費はほとんどかからないそうだ。



移動式エアコン（須坂市北部体育館）

体育館全体の温度は下がらない

メーカー担当者によれば、体育館全体の温度を下げることは想定しておらず、あくまで風が当たる範囲を冷やす「スポットクーラー」という設備だという。

温度や風量も設定できるが、体育館ではいつも20度に設定し、最大出力で運転している。カタログには秒速8～10メートルの風が、最大48メートルの距離まで届くとあるが、体感では20メートル程度に感じた。

バドミントンや卓球など、風の影響を受けるスポーツは使用が難しいとのことだ。

どう使うかは考え方次第

「小学校の体育の授業で、児童に熱中症を起こさせないための最低限の設備」と考えるなら有効だろう。しかし、長時間に渡る中学校の部活動や災害の際の避難所としての使用には、十分な効果が得られないと感じた。

鳩山モデルによる健康寿命の延伸　埼玉県鳩山町

埼玉県鳩山町では、健康寿命県内1位を10年連続で獲得している健康づくり「鳩山モデル」に取り組んだ背景や経緯、実証結果などについて視察した。

栄養・運動・社会参加の三本柱

鳩山町は昭和49年の鳩山ニュータウン開設に伴い人口が急増し、ニュータウン住民を中心に将来的に急激な高齢化が見込まれることから、平成12年から「栄養」「運動」「社会参加」を三本柱とした「鳩山モデル」による健康づくりに取り組んできた。その取組として、孤食を防ぐ『100人で食べよう！』、給食のレシピを宿題で考え実食する『はとっ子給食レシピコンテスト』、『体重計に乗るだけプロジェクト』、大学とのスポーツ連携、東京都健康長寿医療センターと平成21年から取り組む『地域健康教室』、その他各種教室やサロンなど多彩な参加メニューがあり、高齢者のみならず小中学生やその親世代も含めた町民参加型の健康づくりに取り組んでいる。

取組を支える人材も育成する

特徴的なのは、この多彩な取組を支える人材育成にとても力を注いでいることだ。町内4地域で週1回行われている地域健康教室は、リーダー・サブリーダーほかサポーターが運営しており、自由参加で出欠連絡も不要という、大変自主的な運営だ。講座等を受講すればサポーターになれる。

また、町内13会場で週1回開催している『はあとふるパワーアップ教室』でも講座を受けたリーダーたちが講師を務めている。役割を持ってボランティア活動をすることそのものが社会参加となっている。



大勢が参加する健康教室

視察を終えて

【長野県須坂市】

本格的なエアコンを整備すれば、体育館1カ所につき1億2～3千万円はかかると考えられる。どの施設にどの程度の効果を求めるのか、どんな設備を整備するのか、一つの方式にこだわる必要はないのではないか。

【埼玉県鳩山町】

「町が用意したメニューに高齢者が参加する」のではなく、「誰かの役に立つ、という役割を自覚した人が呼びかけ、介護の世話にならずに自分の人生をコントロールしたい人が自発的に参加する」というスタイルが確立していると感じた。

産業教育常任委員会研修視察レポート

群馬県下仁田町・千代田町・新潟県柏崎市　6月23日～24日

スクールバス路線の拡充に伴う公共交通の運行効率化

群馬県下仁田町

下仁田町は、急激な少子化のため平成24年に4つの小学校を1校に統合。児童の通学にスクールバスの拡充が必須となった。

当時、同町は町営バスを5路線で運行していたが、小学校統合に合わせてスクールバスと路線バスを併用することにした。

一般町民も無料でスクールバスに乗車

登下校時間帯はスクールバス、それ以外の時間帯は路線バスを運行しており、最大の特徴は、スクールバスに一般住民も乗車できることだ。このおかげで、朝にスクールバスで病院や買い物に出掛け、路線バスを利用して帰宅することができるという。利用料はスクールバスは無料、路線バスは一律200円で、児童生徒と70歳以上の高齢者は無料だ。



下仁田町役場での研修風景

時間をかけ、保護者と地域の理解を得た

この取組の実現には約2年間の議論があった。学校関係者・保護者・住民との協議や説明の場を多く設け、合意形成を図ったとのことだ。

学校施設への移動式エアコンの導入

群馬県千代田町

千代田町は利根川沿いに位置し、令和元年に台風19号が上陸した際には、浸水被害が発生して避難指示が発令された。同町がある東毛地域は全国でも有数の猛暑地域で、避難所となる学校体育館への空調設備の設置が急がれていた。

また、夏場は体育館が暑すぎて運動ができない状況で、町内3校のPTA会長から、空調設備の設置に関する要望書が提出され、導入は急務となった。

そこで電気工事のみで迅速に導入でき、固定式空調より費用を抑えられる移動式エアコンの導入を決定した。

契約から2カ月で導入

令和6年2月に事業者と契約を締結し、4月には中学校の体育館に4台を設置した。

平時は体育館に配置し、体育実技の授業は冷風を浴びる休憩時間を設けたとのことだ。また、停電に備えて、ガソリンとLPガスで発電できる発電機も2台購入した。

移動式エアコンの弱点

しかし、移動式エアコンは室内全体を冷やすことはできない。また、排熱処理が不可欠となる。空調効率が気になるところだが、視察時は発電機の燃料切れのため、実際に作動したところを体験できなかったのが残念だ。

なお、同町では移動式エアコン導入後、小中学校の体育館に改めて固定式空調を設置している。


移動式エアコン（千代田中学校）

旧庁舎跡地の利活用について

新潟県柏崎市

柏崎市役所は令和3年1月に柏崎駅前へ移転、令和6年に旧庁舎の取り壊しが完了し、跡地約1・6ヘクタールの利活用が検討されてきた。

住民・商店街・企業を巻き込んだ検討

平成28年には基礎調査を開始し、旧庁舎周辺の町内会・商店街・住民によるワークショップや若者・女性を対象にしたアンケート調査、民間企業へのヒアリング等により、跡地利活用の方向性（賑わい創出の場）などを決定。令和2年には、（仮称）柏崎セントラルガーデンの建設が決まった。

令和7年度には詳細設計が完成し、令和10年度の開業を予定。

概算工事費は30・8億円を見込んでいたが、資材高騰などで現在では38億円程度になる見込みだ。

視察を終えて

【群馬県千代田町】

エアコンには固定式と移動式という設置形態のほか、電気式とガス式という動力源の違いもある。今後、入善町でも体育館への空調設置が進められていく計画だが、十分な研究と調査が必要だ。

令和8年10月27日　発行
〒939－0693
富山県下新川郡入善町入膳423
☎0765（72）4806
FAX0765（72）4711

事業紹介　小・中学校給食費の無償化

町では、保護者の経済的負担を軽減するため、令和8年4月から小・中学校の給食費を無償化した。

◎令和8年度予算額
8614万円

町ではこれまで、小中学校給食費の一部を補助してきた。補助額は次のとおり。

○小学校
月額6200円のうち
3000円

○中学校
月額7300円のうち
3200円

令和8年4月からは、新たに国と県が2分の1ずつ負担し、小学校児童1人あたり月額5200円を支援する「給食費負担軽減交付金」が創設された。

この交付金による支援に町独自の補助を上乗せし、小・中学校給食費を無償化する。

○小学校
国・県支援額5200円
町独自補助額1000円

○中学校
国・県支援額　0円
町独自補助額7300円

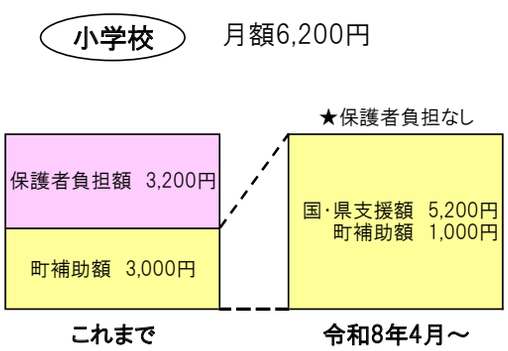
また、食物アレルギーなどで弁当を持参する児童生徒や、町外の小・中学校に通学する児童生徒にも保護者負担が生じないよう支援を行う。

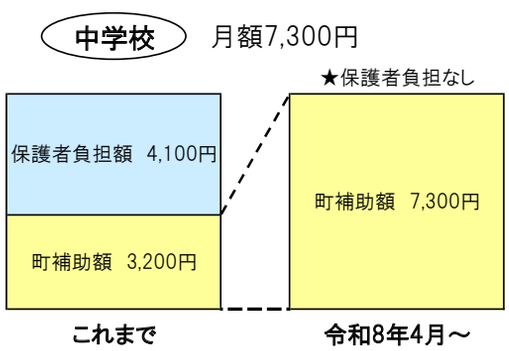


わかめごはん、具だくさん汁、豚肉と大豆の甘みそがらめ、ゆかり和え、お祝いデザート、牛乳



ごはん、豚汁、アジフライ、ゆで野菜、牛乳





編集の窓

8月28日、全国町村議会議長会が主催する「令和8年度町村議会広報研修会」に参加しました。住民の皆さんに議会での質問や審議の内容、委員会活動を正確に伝えることはもちろん、「読んでみよう」と思える見やすさや分かりやすさも重要であることを改めて実感しました。

議会だよりは住民の皆さんに議会への関心を持っていただくための入り口です。「読まれる」議会だよりを目指し、読みやすいレイアウトや分かりやすい表現について、今後も研究と工夫を重ね、親しみやすく手に取っていただける議会だよりづくりに努めてまいります。

議会広報編集特別委員会

議長　池原　純一
委員長　鍵田　昭
副委員長　井田　義孝
委員　元島　正隆
〃　佐藤　一仁
〃　飯田　朱美
〃　加藤　裕子